

2019年度 夏号

Communication

通信



◆ 発行日 2019年7月 ◆ 発行 認定NPO法人 フリースペースたまりば

〒213-0022 川崎市高津区千年435-10

TEL 044-833-7562

FAX 044-833-7534

<http://www.tamariba.org>

E-mail : freespace@tamariba.org

Herzlich willkommen!

またまたドイツからこんにちは！

5月29日、文部科学省とドイツ連邦家庭・高齢者・女性・青少年省が主催する国際交流事業の一環で、「社会の課題や変化に対応するための青少年を対象とした取り組み」というテーマで、夢パーク・フリースペースえんにドイツの方8名が訪れました。毎年来ているので、えんのメンバーは慣れたもので「今年はどうする?」「また浴衣着たい!フォルクローレは演奏するよね?」と色んなアイデアが出ます。お昼ご飯のおもてなしメニューについても、「日本のおすすめ料理って何だろう」とお茶会ミーティングで話し合い、いつものたまりば伝統のやきそばに加えて、今回は初挑戦でレストランでは食べられないお茶漬けも作ることにしました。

また、今回はドイツの方と会話ができるようにいつも以上にドイツ語と英語を勉強しました。というのも夢パークには海外から見学に来る方や様々な国の親子が遊びに来ることが多く、話したいと思っているのに「英語がしゃべれないから」と声をかけられなかったり、勇気を出して声をかけた



ら理解しようとして一生懸命関わってくれたなどの経験から、えんでは今年度4月から英語を学ぶ

講座を始めました。

アメリカ出身の大学教授・ケビンさんに週に一度来ていただき、朝の30分間をおしゃべりしながら過ごします。英語を習うという形ではなく、日常的に英語に触れていく機会になればと考えています。

今回の訪問に向けて、ドイツ語のあいさつを調べ、会話やメニューの説明などはケビンに聞きながら簡単な単語や文章を覚えました。また、保護者の方の中にも英語やドイツ語が話せる方がいて、みんなでたくさん準備をしました。

当日は、えんめしを作るメンバーから会場設営をするメンバー、飾り付けをする子たち、英語の練習をする子たちなど役割分担をして、ドイツの方をお迎えしました。えんめしの紹介とフォルクローレ演奏の紹介を子どもたちが英語で行う姿は本当に見事なものでした。あちこちで子どもたちがドイツの方々と触れ合っている光景があり、日常的に英語に触れてきたことが自信になっているように感じました。

フォルクローレ演奏後、ドイツの方たちからも歌のプレゼントがありました。色とりどりの風船をふくらませ、皆さんのドイツでの好きな場所(居場所)を写真を見せながら紹介してくれました。私たちにとって夢パーク・えんが大事な場所であるようにみなさんにとっても大事な場所があり、それがどんなところなのかを少し知ることができて嬉しかったです。また今回、言葉を通して通じ合うことの喜びをとっても感じる事ができました。最後は「チユース」と言い合いながら笑顔でお見送り。来年もお待ちしています♪(あかり)



認定NPO法人
フリースペース
たまりば
って…?

1991年川崎市高津区で、学校や家庭、地域に居場所を見出せない子ども・若者たちの居場所として活動をスタート。2003年にNPO法人の認証を受け、同年7月にオープンした「川崎市子ども夢パーク」内の不登校児童・生徒のための居場所「フリースペースえん」の運営を市より委託される。指定管理者制度の導入により、2006年4月から川崎市生涯学習財団と共同で夢パーク全体(フリースペースえんを含む)の管理・運営を行なっている。さまざまな活動を通じ、学校外の多様な学びと育ち、生き方を支援している。

たまりバラエティ

あっという間の一年間！

フリースペースえん・活動報告会

昨年度のフリースペースえんの活動を振り返る「活動報告会」。今年は約80人の子どもたちや保護者、OB・OGが集まり、6月22日に行なわれました。(NPO法人の総会は6月始めに開催されました。)

活動の写真を集めた動画をみんなで見ながらあっという間の一年を振り返ったあと、たまりばにどのくらいのお金があつていくら使ったかを確認しました。その他にも、たまりばが「認定NPO法人」になったことや、夢パークの2階、フリースペースえんの上に来年度秋頃、部屋ができることなどが報告されました。

また今年度から新しくスタッフに加わった、「のぞみん」こと今泉のぞみさんや「なおちゃん」こと前田奈緒さん、一年間神奈川県教育委員会から研修に来ている「はぎたん」こと矢萩紗耶香さんの自己紹介もあり、「好きなことはなんですか?」、「今まではどんな仕事をしていましたか?」などなど、みんな口々に聞きたいことを質問していました。

報告会の後は、参加者みなでお菓子や飲み物を囲んでお話をする「交流会」を行ないました。今回の交流会では、寂しくも今年度5月で退職した高橋元央さんを送る会も行いました。子どもたちが企画したメッセージビデオでは名曲「Let it be」がBGMで使われ、元央さんに対するみんなの想いがたくさんの笑顔と共に映し出され、涙を誘いました。保護者有志の方々からもメッセージ集がプレゼントされ、元央さんからの「また遊びに来たい」といううれしい言葉に、みんなが大きな拍手を送りました。

夜は20歳以上の人向けの懇親会。保護者やスタッフ、OB・



OGなど30人以上の参加がありました。思い思いに各々の近況等が話され、会場は終始楽しい雰囲気が充満していました。(しもん)

みんなの楽しみ・手作りBBQ

4月28日、「多摩川でバーベキューを楽しむ親有志の会」企画の『たまりばバーベキュー』がありました。今年は天気が心配だったので薪を早めに切っておこう



と、何日も前に小中学生が率先して薪割りを始め、前日の買い物や荷物運び、野菜切りなど、先輩のお兄さんお姉さんに手順を聞きながら子どもたちみんなで準備しました。日頃の行ないが実を結んで?当日は太陽が顔を見せてくれました。今えんに来ている子ども達や保護者、関係者、OB、OGなど懐かしい人たちもたくさん集まり総勢111名。手づくりのお惣菜やフルーツ、お肉や魚、飲み物など、美味しい差し入れをいっぱい頂きました。ありがとうございます。場所取りをするために朝7時前からBBQ場に並んでくれたみんな、ありがとう。待ち合わせ場所の二子新地は、たまりばのルーツ。河原に行く前、西やんを先頭に昔のたまりばがあった八百屋さんの2階の建物を見学するミニツアーもありました。まだ行ったことのない方、来年はぜひ一緒に!(たかこ)

指定管理料が増えました!

フリースペースえんは、2003年にオープンした時にもともと定員30名の場所として始まりました。それが2019年3月現在に、登録者はついに150名を超えてしまいました。今までそのような状況に対して、「たまりば」は指定管理料に加え、みなさまからの会費や寄付を活用して「フリースペースえん」にスタッフを加配してきました。それらの課題を川崎市と何年かに渡り協議を重ねてきた結果、指定管理料に「えんのスタッフ人件費」が増額されることが決まりました。また他にも、夢パークの屋根裏スペースを部屋にして、活動のスペースを広げていくことが決まりました。こちらは、2020年秋頃に完成予定で、「えん」のメンバーを中心に、夢パーク全体で活用していけたらと思っています。お楽しみに。

指定管理施設

『やってみたい』がいっぱいある場所です
川崎市子ども夢パーク

川崎市高津区下作延5-30-1
TEL 044-811-2001 FAX 044-850-2059
<http://www.yumepark.net>



ブリュッケだより



～爬虫類にご注意！～

ブリュッケでは、一年に一度のペースで遠くに日帰り旅行をします。3月末には、爬虫類好きの若者の提案で、伊豆河津町にある「i zoo」という爬虫類両生類動物園に行ってきました。電車などの移動に往復約7時間かかって滞在時間は3時間くらいの弾丸ツアーでした。参加したメンバーの中には、「今までで一番遠い旅行」という若者も。長い乗車時間に緊張していると言っていました。目的があると強いですね。平気な顔で現地に到着し、猛毒の蛇や凶暴なワニ、のんびりゾウガメや珍しいトカゲなどを嬉しそうに眺めていました。

昼食は、多くのメンバーがクロコダイルカレーを注文し、ワニに食らいついていました。なかなかたくましい。帰り道には駅前の「手湯」で癒しを求め、お土産も物色してから電車で爆睡という、なんだか満足感のある時間となりました。今年度も、ブリュッケではたくさんのお出会いと体験を重ねていけたらと考えています。(佐藤)



HAPPY えんブリディ

★最近のおはスタでの流行が歴史カルタ。ひとたびカルタが始まると、入れ代わり立ち代わりみんなが札に手を伸ばします。はじめは人物の顔と名前を覚えるのに精一杯でしたが、今では札を取ると「この人地図を作った人だよ」「この2人はライバル！」と偉人の業績やオマケ知識が飛び出します。みんなで歴史博士になれる素敵な一時です。(はぎたん)

★天気の良い日はつい外に出たくなります。サッカーや水遊びなどで思いっきり遊んだり、ベンチに座ってギターを弾いたりお話しているとあっという間にお昼になり、どろどろびしょびしょのまま外でお昼ごはんを食べる人たちも。食後も気持ちいい風に吹かれてのんびりしていると、室内でえんめしを食べた子も集まってきて、気づけばみんなであたりしているそんなえんの昼下がり。お外でごはんいかがですか？(あかり)

★フリースペースえんスタッフのあかりと夢パークスタッフのトラが5月に入籍！その報告を聞いたアマナが夢パークでのウェディングパーティーを企画。ドレスやブーケ、会場の飾りつけなど全てが子どもたちの手作り。立会人？「パギョの精」となった西やんとみんなを前に、ふたりが誓いの言葉を言うと70名を超える参加者から大きな拍手が。みんなの愛があふれる最高にステキな会でした。お幸せに！(たかこ)

西やんのつぶやき



5月の末に、夢パークから3kmくらいしか離れていない川崎・登戸で起きたショッキングな事件。無差別殺傷事件とひきこもりの人たちが結びついているかのような誤解や偏見を助長する報道がされてしまったことで、不安を抱えた家族や本人からの相談が続いている。

その後練馬で起きてしまった子殺しの事件。もう黙ってられずNHKの取材に応じた。

その模様は夜7時の全国放送「ニュース7」などで放映された。私が言いたかったのは、以下のようなこと。

「見守り」という名のもとに、少し他人(ひと)とコミュニケーションがとりづらい人に対し、「不審者」であるかのようなまなざしで見るとなたちの目が増え、若者たちは外を歩くのも怖くなり、かえって生きづらさを助長すること。家族だけで問題を抱え込んで「閉じて」しまうのではなく、外に「開かれる」ことが大事であること。問題を家族の自己責任に押し付けるのではなく、社会全体で考える必要があること。本人が安心して通える居場所を地域の中につくること。親たちが悩みや不安を語る場を増やすこと。「人に迷惑をかけるな」「ひとりで死ね」という暴力的な言葉が、どれだけ孤立を深めさせ、絶望に向かわせてしまうか。大切なのは「排除」ではなく、「ひとりじゃない」「一緒に生きていこう」というメッセージを届けること。誰もがこの世に生まれ、いまを生きるだけで価値や意味があることをわかちあうこと等々。

昨年度末に「フリースペースえん」に登録している151人の中で、18歳以上の人が43人いた。一番上は50代の人もいる。もともと「たまりば」は年齢の制限を設けずに、来たい人は誰でも来られる場を目指してきた。その方針に変わりはない。でも「子ども夢パーク」という名前のついた建物の中にあり、小中学生のにぎやかな声や音が苦手な足が遠のき、自宅で過ごすようになった人たちがいることも事実だ。「8050問題」が騒がれるようになったいま、私たちは年齢の高い人たちが安心して通って来られるもう一つの場も検討する時期に来ているのではないかと思う。こんな場があったらいいなというイメージが浮かぶひと、ぜひあなたの思いを共有させてください。まずは夢を語り合しましょう。(西野博之)



川崎若者就労自立支援センター
ブリュッケ

「Brücke」は、ドイツ語で「かけ橋」。

居場所て人と人がつながり、居場所から地域へ、地域から就労へ、様々なつながりが生まれていく。

そんな人から人への「かけ橋」になっていけたら・・・。

*ブリュッケでは、川崎市内にある福祉事務所のケースワーカーと連携し、15～29歳までの若者たちの居場所・就労支援を行っています。

インフォメーション

★くわしくは事務局まで★

夢まつり2019～水あそびスペシャル～

7月15日(月・祝)11:00～16:00(18:00閉所)

☆夏の恒例イベント！夢パークで思い切り夏を楽しもう♪タワースライダーやドラム缶風呂、散水シャワーなど、「やってみたい・あそびたい」がいっぱい！着替えやぼうしも忘れずにね。

「ゆめ市場」(飲食などの模擬店)や盆踊りもあります。

※16日(火)施設点検日のため夢パークは閉まっています。

※17日(水)「えん」は夢まつりの代休です。

夢パーク KUJI ROCK '19 summer vol.43

7月24日(水)

スタジオ利用者の中高生メンバーが企画・運営するライブイベント♪

八丈島キャンプ

7月28日(日)～8月2日(金)・5泊6日(うち船中1泊)

八丈島・底土キャンプ場 ※申込み締切 7月10日(水)

<★イベント出店★・♪演奏♪>

★♪フリースクール・フリースペース・フェスタ

9月14日(土) 神奈川県青少年センター

★雑居まつり 10月13日(日)世田谷区・羽根木公園

♪白梅学園祭 10月19日(土)小平市・白梅学園大学

フリースペースって、どんなところ？

「不登校」「ひきこもり」の子ども・若者の居場所づくりについて、画像等をまじえて「夢パーク・フリースペースえん」の活動紹介と質疑応答など意見交換を行ないます。

第3回 8月17日(土) 10:00～12:00

第4回 10月5日(土) 10:00～12:00

(原則として、各回とも同じ内容です)

対象 フリースペース(居場所)の活動や、不登校・ひきこもりについて関心のある方
会場 川崎市子ども夢パーク内「多目的室」
資料代 500円 <要予約・先着20人まで>
申込み 第3回 7月1日、第4回 9月2日、ともに12:30から受付開始

ご支援いただきありがとうございます

(2019.3.21～2019.6.14)

認定NPO法人フリースペースたまりばに、会費を入金してくださった方、カンパをいただいた方のお名前です。

(敬称略・順不同。希望されない方は掲載しておりません。)

なお、掲載もれなどの不備がございましたら、事務局までご連絡ください。

青木和雄、中村勇、宮崎芳正、山田恵理子、齋藤こえ子、石川富士子、小黑信枝、松山朋子、山本哲也・将也、田老伸匡、奥水典久、竹内昭太郎、遠山和樹・則子、橋爪裕次、藤川英之・美帆、矢野泉、佐藤秀治・陽子、清水善幸、新居龍太、新田学、村岡美和子、松尾浩子、中元利一、東靖士・大翔、佐藤研二・真理、石橋充行・大吉、安藤明日香、小坂陽子、有賀直美、矢崎達則、マリック・サドルゲイン、芝田直史・晴香、岡本宏次、佐々木ともの、中澤敦子、広岡真生、浦野麻子、田中真由美、柳橋小夜子、江田彩希、住政二郎、米田佐知子、川又直、神辺朋子、中西拓子、平林夏子、鹿山法子、宇井のどか、高田裕子、飯沼光津子、山田晴久、伊原美枝子、内川朗子、波瀬浩子、神山郁恵、太田修嗣、寺田樹生、萩原建次郎、長谷川和子、西川光、友兼清治・悦子、池田博毅、松尾智子、小林静子、柴田愛子、石川憲彦、かわさき生活クラブ生活協同組合、櫻原雅人、赤野香織・彩希、中川裕子、細田和恵、友兼大輔、光富真希子、愛甲香織、遠藤明梨、千葉志門、榎戸貴子、高橋元央、西野博之

応援会員募集中!!

フリースペースたまりばの活動のためにあなたのお力が必要です!

振込先→郵便振替口座 002002-57382 特定非営利活動法人 フリースペースたまりば

*郵便局の自分の口座からなら、手数料が無料で振り込めます。

※他金融機関からも入金できるようになりました。口座番号は↓(支店名を「セ」で検索してください)※

〇二九(ゼロニキュウ)店 (029) 当座 0057382

詳しくは事務局まで TEL 044-833-7562



オーガニックカフェ

TEL/Fax 044-813-5248

南武線久地駅下車徒歩2分
川崎市多摩区宿河原6-26-24 フジビル1F

